

学位論文審査基準

人間文化研究科

| 専攻名                           | 学位論文審査基準   |
|-------------------------------|--|
| <p>キリスト教思想専攻<br/>(博士前期課程)</p> | <p>[修士論文]<br/>           修士論文は当該専門分野における精深な学識と研究能力とを示すに足るものをもって合格とする。その判定は以下の基準に基づいて行う。<br/>           (研究テーマ、研究目的の適切性)<br/>           研究のテーマや目的が明確であり、学術的な意義を有していること。<br/>           (研究方法の適切性)<br/>           先行研究を踏まえており、研究のために必要な文献、資料等を適切に収集、分析、処理していること。<br/>           (論証の適切性)<br/>           論証の展開が明確であり、整合性を有していること。<br/>           (専門性)<br/>           専攻分野における研究能力および専門性を有する職業等に必要な高度の学識を有すると認められること。<br/>           (倫理性)<br/>           研究者倫理が守られていること。</p> <p>[特定課題研究]<br/>           特定の課題についての研究は、当該専門分野一般について、広範な学識と研究能力を示すに足るものをもって合格とする。ただし特定課題に関して、その目的と学術的ないし社会的意義を論じた成果報告書を併せて提出すること。また共同制作である場合は各自の担当部分を明確化すること。審査委員会は修士論文と同様に構成され、特定課題と成果報告書について総合的な審査を行う。その判定は以下の基準に基づいて行う。<br/>           (課題の目的と有用性)<br/>           課題設定の目的が明確で、社会的および学術的有用性が認められること。<br/>           (方法論)<br/>           課題に対して斬新で妥当な方法によってアプローチされていること。<br/>           (倫理性)<br/>           研究倫理にかなった研究であること。</p> |